

## 森林表土を利用して、地域の植生回復と生物多様性の保全を目指す!

近年の自然環境や生物多様性保全への高い関心によって、のり面緑化工に対しても地域の自然生態系の保全に配慮することが多くの場面で求められてきています。マザーソイル工法は、地域の森林表土(表土シードバンク)を利用することで、地域の植生回復を図る緑化工法です。

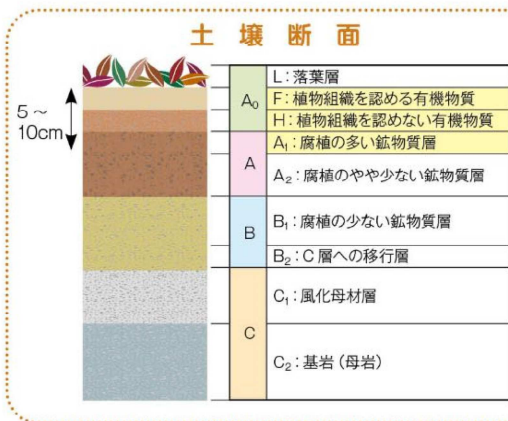
### 1 表土シードバンクの採取

表土シードバンクの採取は、機械と人力による方法があります。採取するのは落葉層を除いた表層より5～10cmの部分を取ります。



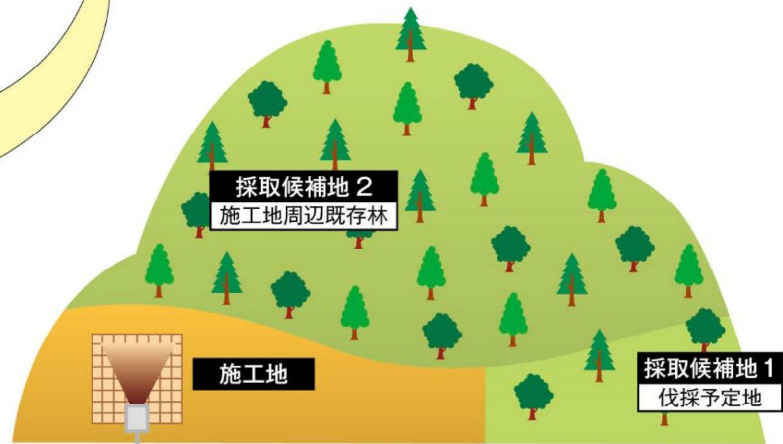
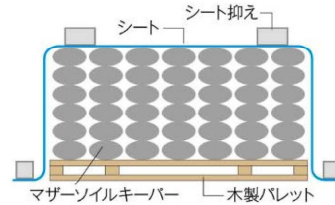
表土シードバンク

**表土シードバンク**  
森林表土中には多くの埋土種子が含まれ、表土シードバンクを構成しています。落葉層を除いた表層より5～10cmの部分に埋土種子の約80%が含まれていると報告されています。



### 2 表土の保存

表土シードバンクを採取後、直ちに吹付け施工する場合は施工予定のり面付近に集積します。採取してから吹付施工まで期間を要する場合は、加湿状態にならないように、採取した林内かその他の木陰に集積します。1年程度は保存可能です。



### 3 ファーザーネットの張付

のり面の条件に合わせて、2タイプのファーザーネットを張付けます。緑化基礎工のファーザーネットは、のり面表層土や吹付材料の侵食を防止します。

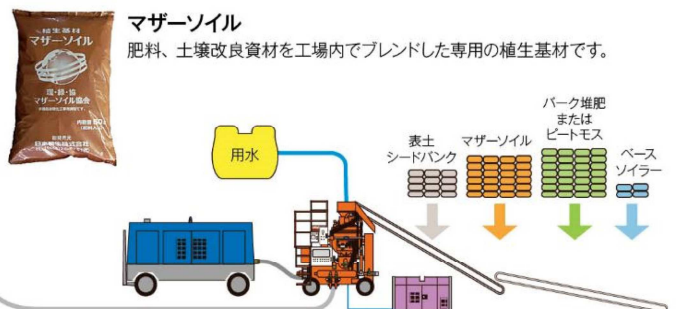
■ファーザーネット規格

ネットタイプ	ファーザーネット切土用	ファーザーネット盛土用
切盛区分	切土のり面	盛土のり面
規格	ネット目合 56mm	ネット目合 80mm

※ファーザーネット張付けは帯部を等高線状に揃える必要はありません。

### 4 表土シードバンクの吹付け

表土シードバンクとマザーソイル、バーク堆肥またはピートモス及びベースソイラーを攪拌し、吹付機でファーザーネットの上から所定の厚さに吹付けます。吹付厚は、地山の状態、降水量、勾配などを検討して決定されます。

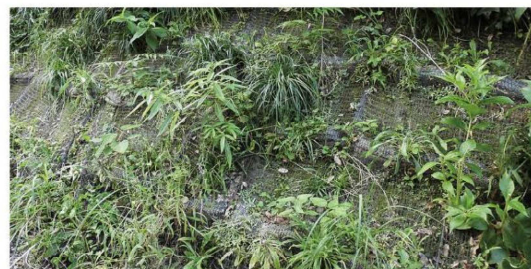


## 軽量の資材で森林表土をのり面に利用!

マザーソイルマット工法は、森林表土(表土シードバンク)を利用することにより、生物多様性保全に配慮する植生マット工法です。人力施工のため大型吹付機械の設置が困難な現場でも対応でき、より柔軟に地域の植生回復を図ります。



施工後6カ月



施工後6カ月

### 森林表土による 自然植生の復元

森林表土を活用することで、地域の自然植生を早期に復元します。

### 植生基盤 の安定

表土袋をマットに挿入することにより、植生基盤の安定を図ります。

### 保水性 の向上

表土袋に配合している保水材が安定した保水効果を発揮します。

### 分解性素材 の利用

分解性素材を使用しており、環境負荷低減に配慮しています。

### 飛来種子の 定着が容易

表土袋による小段形成が飛来種子の定着を容易にします。

## 伐採木の有効活用+マザーソイル工法

資源循環型マザーソイル工法は、生物多様性の保全とともに循環型社会に寄与することを目的としたのり面緑化工法です。森林表土(表土シードバンク)と伐採木の木質チップを利用し、地域資源を有効活用して地域の植生回復を図ります。